

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 主要地方道 矢野安浦線 道路改良事業に伴う測量設計業務委託(熊野バイパス2工区)

事業・工事名

調査目的及び調査対象 道路 橋梁・高架

ボーリング名	R4-Bor.No.2	調査位置	広島県安芸郡熊野町	北緯	34° 19' 52.3340"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和4年11月 2日～ 令和4年11月 4日	東経	132° 34' 47.7330"
調査業者名		主任技師		現場代理人	
開口標高	TP 211.22m	角	180° 上 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南
総削孔長	6.00m	度	0°	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°
		使用機種	試錐機 東邦D-0 エンジン ヤンマー NFD10-EK	コア	ア
				ボーリング責任者	
				ポンプ	東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					自沈時の貫入量 (m)	深	試料採取番号	採取方法	室内試験	削孔月日
											深度 (m)	N	100mm毎の打撃回数	50回の貫入量	深						
1	210.82	0.40	シルト混り砂	シルト混り砂	褐				中～粗砂主体。細粒分を20%程度含む。幾が点状する。	11/7 1.90	1.15	1	1	2	1.15	P2-1	⊙	比水含量性土質試験	11/2		
2	209.62	1.60	シルト質砂	シルト質砂	褐	rd1		細～中砂主体。細粒分を30%程度含む。少量の礫を含む。		1.50	2	6	12	2.15	P2-2	⊙					
3	208.97	2.25	シルト質砂	シルト質砂	褐	rd2		細砂主体。細粒分を30～40%含む。部分的にシルト分が優勢な箇所あり。		2.45	20	20	30	2.45	P2-3	⊙					
4	208.52	2.70	礫混り砂	礫混り砂	褐	rd3		粗砂主体。φ2～20mmの礫を10～20%含む。部分的にシルト分を含む。		3.10	50	50	50	3.10							
5			花崗岩	花崗岩	淡褐灰	rd5		粗粒花崗岩。組織は明瞭であるが、風化著しくハンマーの軽打で破砕する。0L～4.0～5.0m間は、比較的硬質で礫状～一部岩片状を呈す。全体としてD4級。軟岩I。		3.15	50	50	50	4.00							
6	205.22	6.00								5.15	19	31	50	5.15							
										5.25	40	140	140	5.25							
										6.00	貫入不能	50	0	6.00							